

# 平成29年度 第1回生駒市子ども読書活動連絡調整会議 会議録（要約）

日 時： 平成29年9月7日（木）午後3時30分から

場 所： 図書会館 市民ホール

**【参加者】** 岩崎れい、平井富久子、山崎周子、西木由紀、山中賢司、  
西中佳代美、辻中伸弘、吉川祐一  
(欠席) 森岡伸枝、藤原康成、松山裕美

**【事務局】** 向田真理子、平澤佐千代、錦好見、中谷知子、入井知子、清水淳子、吉田里子、廣松典子（以上図書館）

## 1 開会

## 2 案件

### (1) 平成29年度事業計画（案）について

- ・昨年度は、就学前園児の学校図書館訪問の様子を生駒幼稚園と生駒小学校の連携の中で見学。
- ・今年度は、4月から新校舎がオープンし本格的に小中一貫校として動き出した北小中学校を視察したい。

### (2) その他

◎図書館・室から、今年度の児童サービスを中心とした事業の紹介

○北分館

- ・夏休みには駅前図書室とともにサマービンゴを実施。また、「自由研究に役立つ！北分館・夏の昆虫教室」は反響が大きく、同時に特集していた本もよく借りられ図書館らしい催しになった。
- ・昨年度の図書館とまちづくりワークショップでお茶会の企画が生まれた。高山地区は、茶釜の国内生産量の約9割を占める地区。図書館資料でふるさと生駒を調べ、生駒市の特産である茶釜に親しんでもらおうという主旨で、高山地区に近い北分館で「お茶会@北分館×茶釜のふるさと」を実施。8月、9月で全4回、

親子ペアで募集し、9組22人の参加。1回目は茶会体験と図書館資料を使ってクイズ形式で楽しむ調べ学習、2回目は高山で茶釜づくり体験、3回目は里山や竹林の今を知る高山地区・竹林園の見学とコーヒーやココアを点てて飲む新しい茶釜体験。最終回、仕上げのお茶会を開催予定で自作の茶釜でお茶を点てる。茶釜生産協同組合、茶道協会、竹林園の協力があって実現できている事業。

#### ○南分館

- ・いこま自然塾との共催でどんぐりを使った自然工作「カンタン！かわいい！自然工作☆」を実施。春休みには、春の花で押し花を作る企画を予定。

#### ○駅前図書室

- ・4月、オウルファミリーを招きふくろうの絵を描くイベントを実施。7月、「スズムシを育てよう～ペットボトルで虫カゴ作り～」、8月、子ども一日図書館員を実施。10月には造形作家の玉田多紀さんの作品展示とワークショップを開催予定。

#### ○鹿ノ台ふれあいホール図書室

- ・夏に、農文協から講師を招いて「天然サイダーをつくろう」というイベント、他にも毎年恒例の「アイデア貯金箱を作ろう！」を実施。

#### ○図書館本館

- ・昨年度は生駒ビブリオ倶楽部と「ビブリオバトル・オブ・ザ・イヤー2016」の優秀賞を共同受賞。ビブリオバトル全国大会には、若者に人気の直木賞作家、朝井リョウさんを招聘。今年は辻村深月さんをお招きする。12月22日には「第3回生駒市長杯ビブリオバトル市内中学生大会」を開催予定。
- ・10月には「こぐま社50年のあしあと展 in IKOMA」を開催予定。昨年春、東京銀座で開催された同社の創業50周年イベントで好評だったコーナーを抜粋し、生駒ならではのエッセンスも加味した、子どもに身近な公共図書館ならではの‘読む’‘見る’‘遊ぶ’の体験型原画展。

子どもたちに長く親しまれてきた絵本の原画展示を中心に、絵本キャラクターといっしょに記念撮影できるスポットや、キャラクター衣装で絵本の世界に飛び込

むコーナーなど。また、本展覧会の開催を記念して、絵本作家の西巻茅子さん、絵本編集者の関谷裕子さんによる講演会を開催予定。絵本の専門出版社、図書館、ボランティアグループ生駒おはなしの会の三者の力が結束したイベント。

- ・7月、盛会だったイベントは生駒市子どもの本連絡会と共催の恒例行事のサマーフェスティバル。カブリモノ作家のチャッピー岡本さんを招き、絵本『もりのなか』の読み聞かせのあと、動物のカブリモノを作りみんなが動物に仮装して行進、実際につくること、想像することを通して絵本の世界を満喫した。

#### ◎参加者より

- ・茶道について知る良いイベント。茶釜は生駒の財産だからもっと気軽にふれてほしい。
- ・昨年度、生駒小学校と生駒幼稚園の図書室を通しての連携を視察してもらったが、その後、中保育園からも40名程度見学を受け入れた。生駒小学校は低学年図書室と高学年図書室があり、学校図書館司書や校長が子どもたちに読み聞かせをしており今後も続けていきたい。
- ・北小中学校は茶室や、地熱を利用した空調設備等見どころがある。
- ・学校図書館司書は全校で週3日配置しており、生駒市は他市に比べると県下では最も進んでいる。学校現場からは、学校図書館司書には毎日来てほしいとの声もあがっている。これからも学校図書館司書の活躍を期待している。
- ・12月には児童生徒が給食をおいしく楽しく食べる「食育」と、学校図書館を活用した「読書活動の推進」を結びつけることで、児童生徒の健康で豊かな育ちの一助となることを目的とした「図書給食」を実施予定。『せかいいちおいしいスープ』に出てくるメニューを学校給食で提供することになっている。今後継続できればと考えている。
- ・子どもと本を結びつけるためには、重層的な取り組みが必要。